

2. 水

2-1. 心がけ節水

- ・ 洗車の際は、バケツ等に水を汲んで行いましょう。
- ・ 水道を使った後は、しっかり蛇口を閉めましょう。
- ・ 食器のためおき洗いを実践しましょう。
- ・ 水の流しっぱなしをやめましょう。
- ・ 定期的に漏水点検を実施しましょう。
- ・ 洗面台等の元栓を調節し、水量を適度に保ちましょう。
- ・ トイレの水は、大小のレバーを使い分けましょう。
- ・ 節水こまを利用しましょう。
- ・ 泡沫蛇口を利用しましょう。



2-2. 節水型機器・設備の導入

- ・ 節水型トイレを導入しましょう。
- ・ 流水音を流す装置を取り付けましょう。
- ・ 雨水の貯留タンクや雨水利用施設を設置し、雨水を利用しましょう。

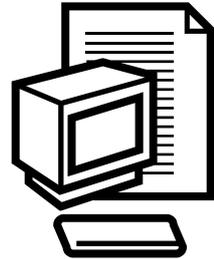
3. 廃棄物

3-1. ごみ減量（全般）

- ・ ものを大事にし、できるだけ長く使いましょう。
- ・ 事務用品等は計画的に購入しましょう。
- ・ 紙コップや紙皿など、使い捨て製品の使用をやめましょう。

3-2. 紙使用量の削減

- ・ コピーの前に、その必要性を検討しましょう。
- ・ コピー機のリセットボタンを押して、ミスコピーを防ぎましょう。
- ・ プリントアウトする前に、プレビュー画面で確認し、ミスプリントを減らしましょう。
- ・ 不要紙の裏面を再利用しましょう。
- ・ 使用済みの封筒を再利用しましょう。
- ・ 両面コピーや縮小コピーを活用しましょう。
- ・ 電子メディアを利用し、ペーパーレス化を進めましょう。



3-3. 購入者に対する配慮

- ・ 過剰包装をやめましょう。
- ・ マイバッグの利用促進を呼びかけましょう。
- ・ 量り売り、ばら売りを推進しましょう。
- ・ 詰め替え式の容器・製品、リターナブル容器入りの製品の販売促進に努めましょう。

3-4. 適切な分別・リサイクル等

- ・ ゴミは適正に処理しましょう。
- ・ ゴミ出しルールを遵守しましょう。
- ・ 紙は種類ごとに分別しましょう。
- ・ 空き缶、空き瓶等は、中身をすすいで出しましょう。
- ・ 生ごみは堆肥化、飼料化を進めましょう。
- ・ シュレッダーの使用は機密文書に限り、できるだけリサイクルしましょう。
- ・ 使用済み自社製品の回収・リサイクル等に努めましょう。



3-5. 再生品・再生資源利用の促進

- ・ 紙、事務用品等はエコマーク商品やグリーンマーク商品、再生紙使用マークのついた商品を優先的に購入、使用するなど「グリーン購入」に努めましょう。
- ・ 廃棄する際に再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入、使用しましょう。
- ・ 再生原料を積極的に使用しましょう。



- ・ 輸送には、通い箱など繰り返し使用できる梱包材を使用しましょう。